

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	現在、グループホームの理念を玄関、スタッフルームに掲示し、毎朝朝礼時に唱和しているが、もっと分かりやすい表現に変えるべきではないか。それによって今まで以上に職員一同共有し、実践できるではないか。	地域密着型サービスの意義を皆で理解し、実践に繋げる事によって、地域に根付いたホームを目指す。	ミーティングや定例会で、意見を出し合い、牧水の丘 独自の理念を作成し、実践に繋げていく。	3ヶ月
2	15	終末期、看取りの際のかかりつけ医、家族への方針以外に、具体的な方針を共有すべきではないか。	終末期、看取りの際のホームの方針を職員一同共有し、最後の時まで誠心誠意支援していく。	看取りの場面を想定し、緊急時の対応の再確認や、御家族への対応等、具体的なホームの方針を作成する。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。